

一 般 質 問 通 告 書

令和8年9月4日（金）一般質問1日目

順位	要 旨	議席	氏名・会派
1	1. 国の特定利用としての船川港指定について (1) 「船川港」の特定利用港湾としての「指定」について、その意向を含めた市長の所見を伺う (2) 市として「市民への説明会」を実施すべきではないか 2. 漁業振興対策について (1) 漁業振興策などを研究するべく、庁内に対策機関や対策室等を設置するべきではないか (2) 漁業協同組合や漁業従事者等との定期的な意見交換など、対応に取り組む必要はないか (3) 特に養殖事業の支援強化のほか、藻類や貝類などの調査研究に取り組む考えはないか 3. 一人暮らしや高齢者への支援について (1) 生活困窮者や一人暮らしの方などに対する支援体制を強化する必要はないか (2) 今後、改正介護保険法に創設された「特定地域」に指定された場合、訪問介護などサービスへの影響や対応をどのように想定しているのか	8	安田 健次郎 (日本共産党)

一般質問通告書

令和8年9月4日（金）一般質問1日目

順位	要 旨	議席	氏名・会派
2	1. 観光消費額の拡大に向けた男鹿総合観光案内所の機能強化と施設拡充について (1) 前年からの観光客数は減少した一方、観光推定消費額は増加に転じた令和6年の近況について、その要因をどのように分析しているのか。また、観光ビジョンに掲げている観光推定消費額の目標達成に向けて、飲食・買物・体験・宿泊等の各分野をどのようにつなぎ、観光消費額を積み上げていく考えなのか (2) 男鹿市の玄関口である当該施設の位置づけ、及び市内周遊と観光消費への誘導を含めた現状の施設規模や施設機能に対する評価について (3) 令和6年度における施設利用者数の計測対象、計測場所・方法、重複の扱いについて。また、利用状況や利用者の要望把握、施設運営に向けた活用について (4) なまはげ立像周辺における撮影・動線・休憩等の環境評価について。また、増改築を含めて、当該施設の機能強化を検討する考えについて (5) 当該施設の全てのトイレに温水洗浄便座を整備する考えについて 2. ホテル開業を船川の飲食・買物・商業の再生へつなげる取組について (1) ホテル開業後、飲食や買物の受入れに向けて、市が事業者に対して働きかけた交渉内容や実績等について。また、実現を妨げている要因の分析について (2) ホテルや関係事業者と連携して、宿泊者の消費行動を調査する考えについて (3) 道の駅おが「レストラン」の夜間延長営業に向けて、指定管理者等と協議する考えについて。また、宿泊者が夜間に利用可能な飲食機能の充実に向けて、既存事業者や創業希望者を後押しする考えについて (4) 市が空き店舗や既存事業者、創業希望者をつなぎ、期間限定営業や予約販売、夜間営業等を支援し、利用状況や採算性を確かめる取組を実施する考えについて。また、「今すぐ行ける店」の情報をその場で提供できるような仕組みづくりを進める考えについて (5) 市・ホテル・商工会・DMO・金融機関・地域事業者による推進体制を設けるとともに、店舗数や利用率、消費額など具体的な目標と期限を定め、その成果を市民と議会へ報告する考えについて 3. 人口減少・高齢化下における介護サービス提供体制の確保と第10期介護保険事業計画について (1) 施設サービス受給率、ショートステイの長期利用、第1号被保険者における1人当たりの介護費用が県平均より高い背景、及び在宅生活を続ける上での課題の分析について。また、在宅生活を維持するために実施している取組、及び成果や課題について (2) 市内3事業所における訪問介護の実態把握について。また、把握が不十分な項目は、第10期計画の策定過程において、関係者への聴き取りにより実態を明らかにする考えについて (3) 第10期計画の策定段階、今後のスケジュール、事業者・市民の意見を反映する方法について。また、維持が難しくなる地域やサービス、必要な対策や進捗指標を計画に位置づける考えについて。さらに、県との情報共有や協議状況、市が県に示している課題について (4) 計画完成や新制度の詳細決定・施行を待たずに、現行サービスを維持する対策について。また、国から詳細が示された際、地域分析に基づき「特定地域サービス」や「特定地域居宅サービス等事業」の導入を速やかに検討する考えについて	13	太田 穰 (新星会)

一般質問通告書

令和8年9月4日（金）一般質問1日目

順位	要 旨	議席	氏名・会派
3	1. 複合交流施設整備事業の必要性と将来を見据えた事業の方向性について (1) 基本計画における比較検証について 基本計画策定の中において、建設地の変更や既存施設の改修・活用など新設以外の選択肢も含めて比較検証し、本市にとってより有益な方法を選択する可能性を排除していないのか (2) 複合交流施設を新設する必要性について 現時点において、既存施設の改修・活用ではなく、新たな複合交流施設を新設する必要があると考える最大の理由・メリットとは何か (3) 公共施設総量の縮減について 「新たな複合交流施設を整備するのであれば、人口減少や将来の行政運営を見据え、既存公共施設の統廃合・再編をより積極的に進め、公共施設総量の縮減につなげることが肝要である」といった考えに対する市としての見解はどうか (4) 将来の財政負担と施設の持続性について 地方債の償還や一般財源からの負担、将来の維持・更新等を含めた財政見通しを踏まえた上で、将来にわたって市民から必要とされ、将来世代の負担となることなく持続的に維持していける施設であると判断している根拠とは何か (5) 基本計画後の事業判断について 基本計画における検討・比較の結果、本市にとって最も有益な施設整備にはならないと判断された場合、事業そのものを見直す可能性もあるのか。また、その判断を行うための基準をどのように考えているのか 2. 子どもたちの学習・スポーツ環境の充実について (1) 学校以外の学習環境について 小・中学生から高校生までの子どもたちが、学校以外で学習や読書、交流等を行う環境について、現状と課題をどのように認識しているのか (2) 冬季間のスポーツ活動を支える屋内施設について 屋外競技に取り組む子どもたちが、冬季間も継続して活動できる屋内運動施設について、その必要性をどのように認識しているのか (3) 複合交流施設への教育・スポーツ機能の導入について 複合交流施設に子どもたちの学習・スポーツ環境を充実させるための機能を取り入れる考えはないか	4	吉田 洋平 (男鹿未来の会)

一 般 質 問 通 告 書

令和8年9月4日（金）一般質問1日目

順位	要 旨	議席	氏名・会派
4	1. 人生100年時代！生きる喜びサポート事業「男鹿市高齢者自立支援推進協議会」の設置について (1) 「男鹿市高齢者自立支援推進協議会」の設立を見直す考えはないか 2. 通行を妨げる道路沿線の草刈りや支障木の除伐について (1) 市民から要望の多い道路沿線の草刈りや支障木の除伐について、市民に分かりやすく伝えるための新たな仕組みを模索する考えはあるか 3. 津波災害警戒区域への新たな公共施設整備計画について (1) 津波災害警戒区域への新たな公共施設整備計画については、このたびの複合交流施設の整備を含めて、防災意識を最大限に盛り込んだ計画にするべきではないか	11	猿田 真 (新 星 会)